



中泊町ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界の平均気温が上昇し、地球温暖化の進行による影響と考えられる気候変動や自然災害など、様々な問題が顕在化しています。また、熱中症警戒アラートの発表や生態系の変化など、地球温暖化は私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

2015年に合意されたパリ協定では、世界共通の目標として「産業革命からの平均気温の上昇を1.5℃に抑える努力を追及する」ことが掲げられ、この目標に向け、日本政府は2020年10月に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとする2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

私たちは、国際社会の一員として、SDGsの理念のもと、自らの行動・選択を変えていくことで、従来からの生活習慣を転換し、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策の推進に取り組んでいくことが求められています。

当町では、地域エネルギー会社の設立や再生可能エネルギーの最大限導入による地産地消など、資源循環社会に向けた取り組みを進めていくとともに、町の将来像として掲げる『豊かな自然とともに創る、暮らす、未来へつなぐ自立と協働のまち中泊』が、次世代へ連綿として引き継がれていくために、住民・事業者・行政が丸となり、それぞれが「役割と責任の自覚」を持ち、2050年温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、着実に取り組んでいくことをここに宣言します。

2024年3月25日

中泊町長 濱 館 豊 光